

“日清食品カップ”第37回全国小学生陸上競技交流競技会 開催および感染予防対策について

◆競技会開催について

(1) 開催に際して

- 本連盟は「陸上競技活動再開のガイダンス」に沿って、感染防止に最大限の注意を払い、コロナ禍での競技会およびその他活動を行っています。本競技会においても、できる限り感染リスクを軽減させた競技会運営を行います。
- 政府の方針、各々の地域の感染の状況や行政判断が優先されます。
政府、神奈川県、横浜市の指示、要請、命令に従って、本連盟が開催の判断を行います。
- 移動（飛行機、新幹線）でのリスクをゼロに近づけるために、各交通機関の定める「新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応」を遵守します。
- PCR検査（下記）の実施によって、安全確保のためのスクリーニングを行います。

(2) 競技会の縮小

- 本競技会は、既に大幅な縮小をしています。
※4x100mリレーの中止、コンバインド参加者の縮小、選手団人数の縮小、開会式時の入場行進の中止、競技会実施時間の短縮、フレンドシップパーティーの中止、選手団宿泊数の縮小、販売ブースの中止等
- 次の変更により、更に人流を削減します。
- 監督会議は、前日の実施を取りやめて、オンライン会議で実施します。
開催日時：9月14日（火）18：00～
会議形態：オンライン会議 ※Zoomを使用する
出席者：各選手団の監督・コーチ 3人まで ※3人に満たない場合は支援コーチも可
- 指導者研修会は、前日の実施を取りやめ、競技会後にオンラインで行う研修会を計画します。
日時、内容等は決定次第、通知します。
- 入場者制限を行います。 ※日産スタジアム収容人数：72,327人

(内訳)

- 368人 選手（小学生） ※沖縄（不参加）を除く46選手団
- 276人 監督・コーチ、支援コーチ
- 736人 観客（選手団関係者） ※各都道府県16人まで
- 326人 審判・役員（264人）、補助員（補助員60人）
- 150人 来賓、運営スタッフ、報道（NHK、オフィシャル撮影含む）
- 1,856人 入場者数合計（最大）

◆感染予防対策について

(1) PCR検査の実施

- 本競技会では、日頃一緒に生活しない人が集まって移動、集団行動をすることと、都道府県をまたいで移動すること、また、終了後（帰宅後）の生活も考慮し、安全性確保のために、すべての入場者を対象に、競技会前のPCR検査を実施します。
- PCR検査を受けることにより、通学（通勤）停止になるような場合「陰性確認のための検査である」ことを伝えて、理解をいただいでください。
- PCR検査の対象と手配および費用負担について

【主催者手配、主催者費用負担】

- ・選手団（選手、監督・コーチ、支援コーチ）
- ・神奈川陸協（審判、役員）、補助員
- ・主催者（本連盟）、協賛社（日清食品様）
- ・来賓、ゲスト
- ・運営スタッフ、カップヌードルミュージアム 横浜スタッフ
- ・オフィシャルカメラ、NHK

※検体採取後の検査キット返送費用は、検査者をご負担ください。

また、検査結果に対応するための費用が発生した場合（医師手配、消毒等）は、自己負担してください。

※選手団および関係者（主催者手配）のPCR検査実施要項は別紙のとおり。

【各自受検、自己負担】

- ・報道
- ・観客（選手団および陸協関係者、保護者）

※各自で検査を実施し、陰性を確認後、選手団の代表者に報告してください。

※検査にかかる費用は自己負担してください。

(2) 競技会参加条件

- 下記参加条件を確認のうえ、競技会に参加してください。

①選手団の行動に関する参加条件

- 選手団は、次の行程で競技会に参加してください。

9月18日（土）

・ 競技会前日に集合して、選手団受付、カップヌードルミュージアム 横浜見学、前日練習、選手団写真撮影を行います。

ただし、前日練習の内容については各選手団に一任します。

※監督会議、指導者研修会は、別途オンラインで実施します。

・ 指定宿舎（新横浜プリンスホテル）に宿泊し、ガイドンスおよびしおりに記載の注意事項を守って行動してください。

ただし、ガイドンスおよびしおりは、一部変更が生じていることを、ご理解ください。

9月19日（日）

・ 競技会当日は、開会式、競技会、閉会セレモニーに参加してください。

※開会式、閉会セレモニーで、選手団の集合はしません。

観客席に距離をあけて着席して、参加します。

※開会式は、5年100m、6年100mの選手、および選手のウォーミングアップに関わらない指導者は参加してください。

②選手団その他関係者（会場入場者）の参加条件

- 選手団（選手、監督・コーチ、支援コーチ）

・ PCR検査を行い、陰性であること。

※PCR検査は選手団事務局（窓口：近畿日本ツーリスト）が実施します。

※9月15日（水）午前に検査（検体採取）を行ってください。その他、選手団事務局から送付する案内に従ってください。

・ PCR検査ができていない、または拒否した場合は参加できません。

・ 14日前から体温および体調を確認のうえ、別途添付する【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（以下体調管理チェックシート）に記入してください。1つでも該当した場合には参加できません。

※体調管理チェックシートには、PCR検査の結果も記入し（陰性確認）、提出してください。

- ・同居する家族、所属クラブ、学校（クラス）に競技会前14日以内に感染者が確認され、濃厚接触の可能性（疑い）がある場合は、保健所からの濃厚接触者に関する回答によって判断します。
 - 濃厚接触者と指定された場合は、参加できません。
 - 濃厚接触者と指定されなかった場合は、参加可能になります。
 - 濃厚接触者に関する回答（連絡）が競技会開催日までになかった場合は、参加できません。
- ・開催期間中（前日および当日）は、毎朝、体温および体調チェックを行い、別途配布するチェックシートを提出してください。
- ・会場入口で検温を行い、目印（前日：リストバンド、当日：シール）を付けて頂きます。
- ・移動、および競技会中は、マスクを着用してください。
 - 前日練習、ウォーミングアップ、競技中の選手は、マスクを着用する必要はありません。ただし、移動や休憩中は、必ずマスクを着用してください。
- ・移動は、選手団事務局が手配した移動手段を使用してください。
- ・ホテルのチェックイン後は、外出禁止です。
- ・競技会会場への移動中に、発熱その他の体調不良が認められた場合は、直ちに帰宅し、医療機関で受診してください。
 - 選手は、引率者（監督・コーチ、支援コーチ、選手団関係者）と帰宅してください。
- ・会場到着後および競技会中に、発熱その他の体調不良が認められた場合は、看護師による確認後、帰宅して医療機関で受診してください。
 - 選手は、引率者（監督・コーチ、支援コーチ、選手団関係者）と帰宅してください。
- ・開催中の帰宅については、各選手団で対応してください。ただし、交通手配等について、選手団事務局がサポートします。
- ・体調不良者は、帰宅（移動）までの間、競技場、ホテルにおいてそれぞれ他の参加者と隔離します（主催者は隔離用の部屋を用意します）。
- ・開催中の帰宅において生じる費用（交通費等）および延泊となる場合の費用（宿泊費等）については、選手団または自己負担とし、主催者は負担しません。
- ・競技会終了後、14日間の体温および体調チェックを行い、別途添付する【大会後／個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（以下チェックシート）に記入してください。体調不良は、速やかに主催者に報告してください。

- 審判、役員、補助員、来賓、ゲスト、運営スタッフ（競技会、カップヌードルミュージアム 横浜）、オフィシャルカメラ、NHK

・PCR検査を行い、陰性であること。

※PCR検査は選手団事務局（窓口：近畿日本ツーリスト）が実施する。

※9月15日（水）午前に検査（検体採取）を行ってください。その他、選手団事務局から送付する案内に従ってください。

・PCR検査ができていない、または拒否した場合は参加できません。

・14日前から体温および体調を確認のうえ、別途添付する体調管理チェックシートに記入してください。1つでも該当した場合には参加できません。

※体調管理チェックシートには、PCR検査の結果も記入し（陰性確認）、提出してください。

・同居する家族、所属クラブ、学校（クラス）に競技会前14日以内に感染者が確認され、濃厚接触の可能性（疑い）がある場合は、保健所からの濃厚接触者に関する回答によって判断します。

—濃厚接触者と指定された場合は、参加できません。

—濃厚接触者と指定されなかった場合は、参加可能になります。

—濃厚接触者に関する回答（連絡）が競技会開催日までになかった場合は、参加できません。

・会場入口で検温を行い、目印（前日：リストバンド、当日：シール）を付けて頂きます。

・移動、および競技会中は、マスクを着用してください。

・競技会会場への移動中に、発熱その他の体調不良が認められた場合は、直ちに帰宅し、医療機関で受診してください。

・競技会終了後、14日間の体温および体調チェックを行い、チェックシートに記入してください。体調不良は、速やかに主催者に報告してください。

- 報道

・PCR検査（自己受検、費用自己負担）を行い、陰性であること。

※報道受付で陰性証明を提示してください。

・報道者席はフィジカルディスタンスを保つよう、座席制限を行います。

・別途配布する「大会取材要項」をご確認ください。

・その他については、上記“審判、役員、補助員、来賓、運営スタッフ等と同様です。

- 観客（都道府県陸協関係者、保護者）

- ・各都道府県 16人まで（乳幼児も含む）とします。
- ・PCR検査（自己受検、費用自己負担）を行い、陰性であること。
※各自で検査を実施し、陰性を確認後、選手団の代表者に報告してください。
※検査にかかる費用は自己負担とします。
※9月16日（木）以降に検査（検体採取）を行ってください。
※当日、受付で検査結果通知（陰性確認）またはその他陰性結果がわかるものを提示してください。提示の無い場合は入場できません。
- ・PCR検査を行わない場合は入場できません。
- ・9月10日（金）までに、氏名、役職または選手団との関係、年齢、連絡先を記載した来場者申請（別途添付：【提出用】小学生陸上_来場申請（陸協 保護者等））を、都道府県陸協でとりまとめて、提出してください。
提出先：nissincup@jaaf.or.jp
- ・14日前から体温および体調を確認のうえ体調管理チェックシートに記入してください。1つでも該当した場合には参加できません。
- ・乳幼児（未就学児）は、PCR検査不要です。
14日前からの体調管理チェック、現地での検温、その他については他と同様とし、保護者の管理・責任のもと入場してください。
- ・同居する家族、所属クラブ、学校（クラス）に競技会前14日以内に感染者が確認され、濃厚接触の可能性（疑い）がある場合は、保健所からの濃厚接触者に関する回答によって判断します。
 - 濃厚接触者と指定された場合は、参加できません。
 - 濃厚接触者と指定されなかった場合は、参加可能になります。
 - 濃厚接触者に関する回答（連絡）が競技会開催日までになかった場合は、参加できません。
- ・競技会前日は、入場できません。
- ・競技会当日は、朝の体温および体調チェックを行い、観客席のみ入場可能です。
- ・会場入口で検温を行い、目印（リストバンド）を付けて頂きます。
- ・移動および競技会中は、マスクを着用してください。
- ・競技会会場への移動中に、発熱その他の体調不良が認められた場合は、直ちに帰宅し、医療機関で受診してください。
- ・競技会終了後、14日間の体温および体調チェックを行い、チェックシートに記入してください。体調不良は、速やかに主催者に報告してください。

- ・入場を許可されていない人（入場者目印をつけていない人）の、競技場および周辺への来場、待機等をご遠慮ください。選手団との接触も避けてください。
競技場および周辺で立ち止まったり滞留している場合、警備員またはスタッフがお声掛けし、移動をしていただく場合があります。

③選手団（メンバー）の変更等について

- 上記①および②を確認のうえ、選手団のメンバーに変更が生じる場合は、速やかに選手団事務局まで連絡してください。
- 選手、監督・コーチとも、メンバー変更については、原則、規定通りとし、所定の変更届を提出してください。
※監督・コーチは、有資格者でなければなりません。有資格者でない指導者は、支援コーチでの参加になります。

◎コロナ禍により、以下の対応を可能にします。

- ・監督・コーチ（有資格者）が、定員（3人）に満たない場合、監督・コーチおよび支援コーチの合計6人の内で、支援コーチの増員を可能にします。
例1：監督とコーチ（有資格者）が2人の場合、支援コーチは4人まで。
例2：監督とコーチ（有資格者）が1人の場合、支援コーチは5人まで。
- ・有資格者は、必ず1人入れてください。
- ・女性コーチ（無資格者も可）は、原則1人入れてください。
- ・この変更は、9月3日（金）17時までに、選手団事務局まで提出してください。
- ・監督・コーチ（有資格者）が0人の場合は、選手団の参加が認められません。

④競技会参加の判断について

- 選手団は、上記①～③および次項の感染予防対策を確認のうえ、競技会に参加してください。
- 参加の辞退、選手団全員の不参加、または一部選手の不参加は、選手団事務局へ申し出てください。

（3）会場での感染予防対策

①入場者管理

- 入場者および人数の制限については上記の通りです。

- 日産スタジアムの入場は下記とし、すべての入場者の検温、体調チェックを行い、目印（リストバンド、シール）を付けて頂きます。

選手団、観客（選手団関係者）：西ゲート

審判、役員、補助員：審判・補助員入口（関係者入口3）

報道：報道専用受付（関係者入口3）

来賓、運営スタッフ：正面玄関

②消毒

- 競技場各所（すべての入口、その他各所）に手指の消毒剤、手洗い場に液体石鹸および消毒剤を設置します。

※ホテル、カップヌードルミュージアム横浜においても同様に設置します。

- 携帯用消毒剤を選手団全員に配布します。

③マスク着用

- ウォーミングアップおよび競技中の選手を除いて、すべての入場者はマスクを着用してください。

- 各自十分な数のマスクを準備してください。

- トラック種目は、フィニッシュ後すぐにマスクの着用ができるよう、主催者が準備するマスクを配布します。

- 招集所、フィールド種目、その他各所に、主催者が予備のマスクを準備します。

④コンコース、観客席、招集所のフィジカルディスタンス確保

- コンコース（選手団待機エリア）

選手団人数の削減+4Fと5Fに分けてエリアを増やして、十分なディスタンスを確保します。

- 観客席：席をあけて使用する（テープを貼る）等、規制をおこないます。

- 招集所：種目で分散（100mはマラソンゲート、コンバインドは屋内走路）させて、密を回避します。なお、屋内走路の窓は、開放して換気を行います。

⑤更衣室・洗面所（トイレ）

- 更衣室は広さにゆとりのある部屋を準備します。

- 更衣を行う選手以外は入室しないでください。

- 更衣室では更衣のみ行うものとして、短時間で退室するように指導してください。

- ※随時スタッフが、室内の状況を確認して、密になる場合には入場制限等を行います。
- マスクを着用してください。会話は極力抑えてください。食事はできません。
- 換気扇を常に回して、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮します。
- 入退室の前後に手洗い、消毒を行ってください。
- 更衣室、洗面所（トイレ）ともに、スタッフがこまめに消毒を行います。
ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等
- 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をします。
- 入場者は手洗い後に手を拭くためにタオルを持参ください。

⑥給水

- ペットボトル（550ml／サントリー天然水）を選手団に1日1ケース・24本入り（1人1日1本）を配布します。例年行っているウォーターサーバーでの給水は行いません。
- 招集所、補助競技場に予備のペットボトル（同）を設置します。

⑦飲食

- 指定場所での飲食とし、十分な広さをとり、常に換気を行います。
- 飲食場所には、アクリル板を設置します。
- 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行ってください。また、飲料、食べ物、容器等の共有をしないでください。
- 周囲の人となるべく距離を取って、対面を避け、黙食、孤食とし、咳エチケットを徹底してください。
- 会話をする時は、マスクを着用してください。
- 飲みきれなかった水等（ペットボトル含め）を、指定場所以外に捨てないでください。
- 監視スタッフを配置し、上記が守られるよう、管理します。
- ホテル（新横浜プリンスホテル）内での食事は次の通りとします。
 - ・各テーブル中央にアクリル板を配置します。
 - ・食事会場を最大限に広げ、距離を取ってください。
 - ・黙食を徹底してください。
 - ・食事後に行う各選手団のミーティングは、別階に移動して、時間を制限して実施してください。
 - ・食事会場（飲食時を除く）、移動中、ミーティング中、部屋の中、すべてにおいてマスクを着用してください。

⑧清掃、消毒、ゴミの廃棄

- 競技場、ホテル、カップヌードルミュージアムとも、清掃、消毒、ゴミの回収は、各施設の清掃責任者および担当者が清掃にあたります。

⑨競技中の注意事項は「陸上競技活動再開のガイダンス 競技会開催について」に従って行います。

⑩カップヌードルミュージアム横浜見学における感染防止に関しては、後項で詳述します。

(4) 責任者および医療体制

①新型コロナウイルス感染防止責任者

競技会全体：日本陸上競技連盟（事務局長） 鈴木英穂

選手団事務局：（株）近畿日本ツーリスト首都圏（支店長） 矢部国俊

カップヌードルミュージアム 横浜：安藤スポーツ・食文化振興財団（事務局長）

兼 カップヌードルミュージアム（館長） 清藤勝彦

※各選手団においては、監督が責任者です。

②医療体制

- 競技会：医師および看護師（神奈川陸協）

- ホテル：看護師（選手団事務局）

- 医療機関との連携：横浜労災病院（後方協力依頼申請提出中）

※コロナ感染の疑い(発熱等)があった場合は、帰宅後、病院で受診をしてください。

※現地で対応が必要な場合は下記を案内します。

横浜市 相談コールセンター（症状がある方に受診可能な医療機関を紹介）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/kansensho/ncov-soudan.html>

◆カップヌードルミュージアム横浜見学における感染予防対策について

①カップヌードルミュージアム横浜（以下ミュージアム）への移動

- 貸切バスは、次の通り運行します。

14県 羽田空港→ミュージアム→日産スタジアム

8県 ホテル →ミュージアム→日産スタジアム

25県 日産スタジアム→ミュージアム→ホテル

- 貸切バス1台（正座席45）に2県乗車（22名）。2席1名で乗車します。

- 移動中に、関係者以外の人との接触はありません。

- ミュージアム駐車スペースでは、バス回送先駐車場から呼び出します。

待機中は、フィジカルディスタンスの確保、マスク着用、会話をしない等、スタッフが管理を徹底します。

②ミュージアム見学内容

- 到着後、検温をして、1Fロビーからミュージアムスタッフの誘導で、階段およびエスカレーターを使用し都道府県ごとに移動、都道府県ごとに次の通り見学します。

2F展示フロア見学 40分、

3Fチキンラーメンファクトリーデモ見学 10分、

3Fマイカップヌードルファクトリー体験 30分

全 1時間20分

※各プログラムとも通常より短縮した内容で実施します。

※見学中の飲食はありません。

③ミュージアム内の感染予防対策

- ミュージアムは、小学生陸上選手団の「貸し切り」利用で運営します。また、選手団ごとに時間をずらし、分散して見学を行います。

- 入館時には全員、手指消毒および検温を行います。

- 各見学エリアにおいて、手指消毒を行います。

- ミュージアム内は各エリアとも十分な換気が行われます。

- ミュージアムスタッフは、事前にPCR検査を実施し陰性確認をしています。

- スタッフと選手団の距離、選手団内の距離を保ち、見学を行います。

- 選手団が触れる（手に取る）もの及びその対応について

- ・マイカップヌードルファクトリーの体験時、オリジナルのカップ、油性ペン、反転マシンのハンドル、エアパッケージ、エアパッケージ用の赤紐、空気入れポンプ
 - 参加者全員、体験前（カップ受け取り前）に必ずアルコール消毒します。
 - 油性ペンと空気入れのポンプはアルコール消毒したものを使用します。
- ・エアパッケージに入ったオリジナルのカップヌードルを各自持ち帰りいただきます。
- 見学および移動中は、マスク着用、立ち止まる際には距離を保つ、会話をしないことを徹底します。各選手団それぞれにスタッフがついて管理します。
- 他県選手団との接触は、ありません。
- 見学、体験中の飲食は、ありません。
- 選手団のうち、18県がミュージアム内で昼食をとります。
 - ・昼食は、各自持参または事前注文した弁当を食べていただきます。ミュージアムおよび主催者からの提供物はありません。
 - ・昼食は、見学エリアとは別の場所を用意します。
 - ・入室前に手洗い、消毒を徹底します。十分な広さを確保して、同方向を向いて、距離をあけて着席します。
 - ・選手団が入れ替わる際に、テーブル、椅子、入口の消毒を行います。
- その他、施設内における、消毒、換気、その他感染予防対策については、別紙「第37回全国小学生交流競技会 開催および感染予防対策について」内に記載の内容に準じて行います。

<参考>

カップヌードルミュージアム 横浜 HP

<https://www.cupnoodles-museum.jp/ja/yokohama/>

以上